

国際学術シンポ フォローアップ・セミナー2023 第1回

塚田孝・佐賀朝・渡辺健哉・上野雅由樹編

『周縁的社会集団と近代』（清文堂出版、2023年）を読む①

—佐賀論文・ポーター論文をめぐって—



写真左：五雲亭貞秀『再改横浜風景』丸屋甚八、文久2。国立国会図書館デジタルコレクション <https://dl.ndl.go.jp/pid/1312617> (参照 2023-05-29)
写真右：『會議所伺 庶務課』明治6～7年、東京都公文書館、606.A7.11

大阪市立大学大学院文学研究科では、2017～19年度に「JSPS 国際的な活躍が期待できる研究者の育成事業」に採択され、日本史・世界史の研究者による国際共同研究「周縁的社会集団と近代」に取り組みました。その成果として、2021年には国際学術シンポジウムを開催し、そこでの報告や議論などをもとに、2023年3月に塚田孝・佐賀朝・渡辺健哉・上野雅由樹編『周縁的社会集団と近代』（清文堂出版）を刊行しました。

シンポ終了後もさらなる共同研究の展開にむけてフォローアップ・セミナーを開催していますが、今後のセミナーでは、複数回にわたって上記論集の書評会を行う予定です。

今回は、日本の周縁的社会集団と近代化をめぐる論稿として、第I部所収の佐賀朝「遊廓社会」の近代化—研究史整理と一次史料の検討から—、ジョン・ポーター「近世身分制の解体と貧民救済＝統制の近代化—明治初期東京の救貧体制を事例に—」の2編を取り上げます。みなさまのふるってのご参加をお待ちしています。

日時 2023年7月1日(土) 10:00～12:00ごろ

評者 崎島達矢氏

(東京大学／日本近現代史)

①佐賀朝「遊廓社会」の近代化—研究史整理と一次史料の検討から—

②ジョン・ポーター「近世身分制の解体と貧民救済＝統制の近代化—明治初期東京の救貧体制を事例に—」

形態 zoomでの開催

※参加希望の方は、下記事務局へメールもしくは参加登録フォーム (<https://forms.gle/UYfTmML9FBtkqcS78>) からお申し込みください。お申し込みの際には、氏名・アドレス、セミナー名、ご所属(差し支えない範囲で)を明記してください。参加登録者には、zoom 会議 ID とレジュメ等(転載等厳禁)を送付します。

連絡・問い合わせ先

基盤研究(A)20H00030「近世巨大都市・三都の複合的社会構造とその世界史的位置—〈史料と社会〉の視点から—」

(代表・塚田孝) 国際ネットワーク構築担当

〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138

大阪公立大学大学院文学研究科 佐賀朝研究室 気付

E-mail internationalsymposium2021@gmail.com

共催：大阪公立大学大学院文学研究科都市文化センター (UCRC)